宮崎公立大学同窓会「凌雲なな会」会報

NaNaKai

vol.16
2015 AUG.

New

宮崎公立大学同窓会
凌雲なな会

あたらしい同窓会、はじまる。

CONTENTS

- Let me introduce new institution! This is “Global Center”!
- 宮崎公立大学がハワイ大学マノア校 IRC 及びハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジとの学術交流協定を締結しました
- ホームカミングデイ 2015 開催
- ホームカミングデイ 2014 開催報告
- Campus Now
- 恩師からのメッセージ
- 近況報告リレー

Let me introduce new institution!
This is “Global Center”！

平成２７年４月にオープンした国際交流・語学支援の場、その名もグローバルセンター！新施設のその実態に同窓会事務局の加塩が迫る！

新設！グローバルセンターとは？

グローバルセンターが位置している研究講義棟３階のスペースはもともとマルチメディア第２自習室であった。音声学の授業等でカセットテープへの吹き込みなどを行っていた場所といえばピンとくる卒業生も多いかもしれない。その場所に、「学生への留学・語学学習支援をワンストップで」という理念のもと、グローバルセンターは誕生した。

国際交流担当 公費派遣留学・ 異文化実習など	CALL事務室 語学学習支援､検定の 受付､DVD貸出	第２自習室 語学学習の場
グローバルセンター		

留学支援にもばっちり対応！

留学サポートデスクでの相談体制にも注目したい。大学間協定にもとづく約１か月間の短期留学（異文化実習）や公費派遣留学の相談はもちろん、私費留学を考えている学生に対しても、留学のための給付型奨学金の情報提供や申請書類の添削指導、ビザの申請手続きや留学に必要な語学資格の相談等、留学全般に関する支援を総合的に行っている。また、留学を希望する学生が、留学を経験した学生から様々な情報を得られるよう、情報交換の場をセッティングする役割も担っている。グローバルセンターは、学びから実践への中継地点の機能を果たしているのだ。

交流・グループ学習・自習　３拍子揃った魅力

まずは飲食可能な「交流スペース」。昼休みには、学生やネイティブ教員、留学生がランチを持ち寄って外国語で語らう風景が見られる。取材当日は、アメリカ人で英語の授業を担当するアイアンズ先生と学生たちがハーブティーを飲みながら英語で談笑していた。この交流スペースは、英語・中国語・韓国語の授業を担当する講師の控室と隣接しており、語学学習で質問したいことがあるとき、もしくは単に外国語で雑談したいときに、気軽に学生が訪問できるよう配慮して設計されている。取材中にも、意欲的に講師控室を訪ねる学生たちの姿を目にした。なかには先生と交流スペースにやって来て熱心に中国語の発音練習を始める学生も。これまでCALL事務室が担っていた、DVDや教材の貸出しといった語学学習支援コーナーとしての役割に加えて、交流を主体とした生きた外国語に触れられる場となっている。

また、大画面TVモニターとホワイトボードが設置された「グループ学習室」は、グループでの議論や打ち合わせ、プレゼン練習の場として活用されている。さらに､「自習スペース」においては、５台ずつ設置されたWindowsとMacのPCとヘッドセットを使用して､シャドーイングやディクテーションを徹底的に練習することができる。個別ブースは吸音ボードによって区切られているので、他の学生に遠慮せず発音を練習することが可能だ。

グローバル人材の育成を目指して！

平成26年度から導入されている新カリキュラムの目玉の一つが「グローバル人材養成プログラム」である。これに伴って外国語の授業に特化した講師の雇用、グローバルセンターのオープンと、ハード・ソフト両面の整備が着々と進行。これまで以上に学生の語学力の向上と国際交流活動の活発化が期待される。

また、グローバルセンター担当職員は、「近年は英語にプラスして中国語、韓国語に力を入れる学生が増加し、他大学と比べてもMMUの学生は中国語、韓国語共に高いレベルを保持している」と指摘している。新カリキュラムでは、英語に加えて中国語と韓国語のいずれかが選択必修となっており、大学が「多国語を話すグローバル人材育成」に本腰を入れている様子がうかがえる。

ＭＭＵの教育と国際交流活動は新しいステージに移行しつつある。そんな印象を、本取材を通じて実感した。

ようこそ！グローバルガーデン！

グローバルガーデンとは、グローバルセンターのベランダに位置する庭園であり、アイアンズ先生が様々な作物を育てているという。窓越しに見せてもらうと、メロンの蔦が茂り、セージにバジルといった香草が育てられていた。このガーデン、ただの先生の趣味だと思ったら大間違いである。実は語学の学習に一役かっている。

「教材に沿っただけの学習では本当の“言葉”は染みこまない。生きた教材があってこそ、生きたコミュニケーションがうまれる」という想いと共にこのガーデンは育まれている。つまり、生きた教材＝グローバルガーデンが会話の糸口となり、学生たちとのコミュニケーションを生み出しているのだ。普段は接する機会のない農学関係の英語を耳にすることが出来るのも面白い。

お茶を飲みながらアイアンズ先生はたくさんのことを語ってくれた。そのお茶もグローバルガーデンで育った摘み立てのミントとレモングラスを使ってふるまってくれたものだった。爽やかな香りのハーブティーとそれをきっかけに広がる会話。グローバルセンターでの生きた“交流”を実感した一日となった。

（取材／加塩美聡）

宮崎公立大学がハワイ大学マノア校IRC及び ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジとの 学術交流協定を締結しました

この度、宮崎公立大学（以下、MMU）はハワイ大学マノア校IRC（Industrial Relations Center）との了解覚書、及びハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジとの学術交流協定を締結し、平成27年６月13日にMMU講堂で調印式が開催されました。これを受けて、MMUと大学間交流協定を締結している海外の大学は、ワイカト大学（ニュージーランド）、バンクーバーアイランド大学（カナダ）、スターリング大学（英国）、蘇州大学（中国）、蔚山大学校・蔚山科学大学校（韓国）に上述の２校が加わり、６か国８校になりました。本協定により、まずは平成27年８月に７名のMMUの学生が、オアフ島ホノルルに位置するハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジで約１か月間の短期研修を実施することが決定しています。

MMUは開学以来積極的に国際交流活動を促進しており、文部科学省が実施した「平成20年度海外の大学との大学間交流協定、海外における拠点に関する調査結果」によれば、MMUが大学間交流協定に基づいて海外の大学に送り出している学生の人数と海外の大学から受け入れている外国人留学生の人数の合計数は、全国の国公私立大学の中で25位、国公立では９位、公立に限れば３位となっています（送り出し76名、受け入れ44名、合計120名＝平成20年度）。MMUより上位の大学の大半は、学生数が数千人から数万人の大規模校であることを考えると、国際交流を体験している学生の割合でいえば本学は全国トップクラスです。このことは、雑誌「カレッジマネジメント」の第168号においても取り上げられました。

また、現在は平成20年度当時よりもさらに国際交流活動が活発になってきており、平成26年度は海外への送り出し数が117名、受け入れ数が68名で合計185名に達しています。これに加えて、大学を休学して半年間から１年間の私費留学に42名がチャレンジしています。日本で高まっているといわれる「学生の内向き志向」ですが、MMUの学生には無縁のようです。　（文/小林元気）

（向かって左側から、林弘子学長、ハワイ大学マノア校副学長Reed Dasenbrock氏、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ学長Leon Richards氏）

ホームカミングデイ2015開催

宮崎公立大学同窓会凌雲なな会では、今年もホームカミングデイを開催します。
懐かしのキャンパスで、気の合う仲間とステキな時間を過ごしませんか？
卒業生の皆様は、参加費無料となっておりますので、ご友人、ゼミ仲間、部活仲間等お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

11月7日は、
ホームカミングデイ!!
～あの頃の自分に会いに来ませんか～

と　き：2015年11月7日（土）

ところ：宮崎公立大学キャンパス　　**会　費**：無料

プログラム

◆おしごとCafe ～聞かせて仕事のウラオモテ～

時　間／12：00～16：00
場　所／研究講義棟3F　グローバルセンター
対　象／卒業生・在学生　※詳しくはHP及びFacebookグループのページにてお知らせします。

「凌雲なな会」宮崎本部Facebookグループページはコチラ→

◆ミニ講義 ※テーマは変更になることがあります。あらかじめご了承下さい。

受　付／13：30～13：40
場　所／ 301中講義室
対　象／卒業生

1限目　13：40～14：30　森津　千尋先生（宮崎公立大学 准教授）
テーマ「メディアが描く新婚旅行
—1960年代～1970年代の宮崎新婚旅行ブームを事例に—」

2限目　14：40～15：30　広瀬　訓先生（宮崎公立大学 元教授）
テーマ「今だから『平和』を考える！」

3限目　15：40～16：30　ヒュー・ニコル先生（宮崎公立大学 教授）
テーマ「Liberal Arts and Lifelong Learning」

※ミニ講義中は託児所を設けておりますので、ぜひお子様と一緒にご参加ください。なお、託児は保育士の人数調整のため、予約制となっております。ご希望の方は事前に同窓会事務局へご連絡ください。
（託児申込締切日：10月25日）

森津千尋　先生

広瀬訓　先生

ヒュー・ニコル　先生

◆総　会　受付／16:30～16:45
総会／16:45～17:00
場所／学食

◆懇親会　懇親会／17:00～20:00
（総会が終わり次第開始）
場所／学食

申込方法　平成27年10月25日（日）までに、同封の参加申し込みハガキにて送付、または、下記FAX、メールにて右の項目を添えてご返事ください。

・氏名（旧姓）　・現住所　・電話（当日つながる番号）
・ホームカミングデイ（総会・懇親会）　出席／欠席

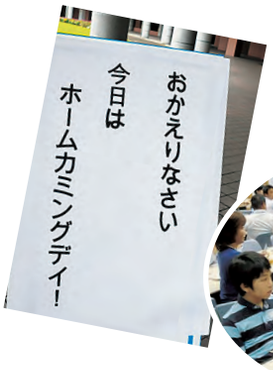
FAX：0985-20-4845　Mail：dousoukai@miyazaki-mu.ac.jp

ホームカミングデイについての情報は、随時HP（URL:http://www.nanakai.jp/）にて更新いたしますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ先　同窓会事務局　0985-20-4844
dousoukai@miyazaki-mu.ac.jp

東京支部も同日にイベント開催予定！

ホームカミングデイ2014開催報告!!



2014年9月13日、宮崎公立大学キャンパスにおいてホームカミングデイを開催いたしました。

〔英語教師勉強会〕

MMUを卒業して高校教員となった卒業生を迎え、教員志望の在学生や卒業生の前で模擬授業を行いました。その後、英語科の指導方法や教育問題を広くあつかった座談会が行われました。少人数だったものの、参加者は現役教師と間近で話す機会を得ることができ、濃厚な90分間となりました。

〔ミニ講義〕

ミニ講義1限目は、現在社会学の研究をしておられる阪本博志先生をお迎えし「“マス・コミの帝王”大宅壮一(1900～1970)をめぐる『点と線』」というテーマについて講義していただきました。2限目は現在中国にて大学設立に奔走されている元宮崎公立大学教授の王智新教授をお招きし「孔子の教育思想とその実践の現代的意義」というテーマについてお話ししていただきました。懐かしの103大講義室での授業に、参加者は一気に学生時代に戻ったかのごとく(もしくは学生時代より？)真剣に耳を傾けていました。阪本先生、王先生、ありがとうございました！

〔総会・懇親会〕

総会では参加者と役員の間で活発な議論が展開されました。今回議論されたことを基に、同窓会がより良い組織となっていくよう努めてまいります。懇親会は昨年度に引き続き食堂で行われ、林学長のご厚意によるターキーとワインが振る舞われました。恒例となったビンゴ大会も大盛況のうちに終わり、参加者は懐かしの母校での再会を存分に楽しんでいました。ご参加していただいた皆さま誠にありがとうございました。来年もぜひご参加ください！

支部 INTRODUCTION 紹介

東京支部ホームカミングデイ開催報告！！

2015.4.4(土) 11：00～　場所　西郷山公園

こんにちは。凌雲なな会・東京支部長の染矢です。2015年度第1回目は、東京支部初となるお花見を4月に行いました。3期生～19期生まで合計30名近くのOB・OGの方にお集まりいただきました。いろいろな職種の先輩や後輩との繋がりが増える場でもあります。同じ学び舎の出身ということもあり、仲がよくなるのも時間はかかりません。

東京支部のOB会の情報については、Facebook（承認制）に掲載いたしますので、ぜひご覧ください。関東近辺に在住の方は、ぜひお気軽に凌雲なな会の関東での会合にご参加ください。

Campus Now 学内近況

現役 活躍する部活 アカペラ部

私たちのアカペラEPOCHは１年生2名、2年生9名、3年生9名計20名で活動しています。昨年度は、七夕コンサートや凌雲祭などの校内のイベントに加え、校外でのライブ活動も多く経験させていただきました。アカペラというと一見、カラオケと同じように自分の好きなように自由に歌うというイメージがあるかもしれません。しかし、実際はリード、コーラス、ベース、ボイスパーカッションの全パートをお互いに聴きあいながら、バランスよく調和させることで１つの音楽を作っていきます。曲を完成させるのに終わりはありませんが、今までで一番いい仕上がりができたときの達成感は、この上なく大きいものです。しかし、なにより嬉しいことは私たちのアカペラを聴いてくださる方々がいてくださることです。より多くの観客のみなさんの心に残る音楽を届けること、これが私たちの最大の目標です。

これからも、その目標を強く持ちながらたくさんの方々を笑顔にできるよう部員同士、切磋琢磨しながら活動に励んでいきたいと思います。（３年　野田　桃子）

平成26年度　卒業式＆入会式

Welcome to our alumni association!

～卒業おめでとう！いらっしゃい同窓会！～

平成27年3月24日に、宮崎公立大学第19期生の卒業式及び同窓会入会式が行われました。卒業式後の「凌雲なな会」入会式では、戸髙会長より入会歓迎の挨拶があり、これから同窓会は縦と横の繋がりを強固にしていくという意気込みを語っていただきました。晴れて同窓会「凌雲なな会」の一員となった19期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

ちぃーてぃー

私たち「ちぃーてぃー」は宮崎公立大学唯一の教職を目指している学生たちの勉強会サークルです。４年生２人、３年生10人、２年生４人、１年生９人の計25人で活動しています。活動内容は英語の勉強をしたり、教育問題について、部員全員で一緒に考えたりしています。ただ勉強したり考えたりするのではなく、部員それぞれが考えて授業のようなものを作り、それを披露することで自らの指導力を高める活動をしています。そのため、受け身な勉強にならず、いつでも自分から積極的な姿勢で活動に参加するサークルです。これからの活動内容も部員の意見から自分たちのためになる意見を取り入れて発展して常に進化を続けるサークルです。また、卒業されて教員になられた先輩方のお話も聞けたらいいなと考えています。将来はここで勉強したことを生かして、スーパーティーチャーのような優秀な先生になれるように日々互いに高めあっています。（３年　恩田　　拓）

恩師からのメッセージ

「生涯学習の場としての宮崎公立大学に参加してください」

教授　竹野　茂 先生

凌雲なな会の皆さん、お変わりありませんか。「便りがないのはよい便り」とか申しますが、やはり久しぶりの便りは嬉しいものです。時々卒業生が大学に顔を出してくれます。特にゼミ生との再会は楽しいものです。そんな再会に時には、大学生の時の無邪気さも未だに垣間見せながら、「社会人として立派になったなあ」と思わせる成長をも見ることができ大変頼もしい限りです。

社会人として忙しく活躍していらっしゃるでしょうが、ふうっと一息つくことも大切ですね。そんな折には、大学時代を思い返してみるのもよいのではないでしょうか。「大学時代にこんなことを学んだなあ」とか、「こんな疑問を持っていたが解決しなかったなあ」とか、「大学時代はこんな生活だったなあ」「あの時の仲間はどうしてるかな」など、いろいろな思いが走馬灯のように駆け巡るのではないでしょうか。懐かしく思ったら、ひと休憩を兼ねて大学に戻って来てください。色んなことを語り合いましょう。

回想に浸ってばかりではなく、生涯教育の学びの場として大学を見直してみてください。大学で新たに見識を深めたいことはありませんか。今抱える悩みを解決に導くヒントが大学にはあると思います。「教師＝教えるひと｜学生＝知識を受けるひと」という構図ではなく、「教師＋学生＝学びを作り出す共同体」として、議論したり問題解決方法を考えたり、ともに語り合う場としての大学を作りに参加してください。

卒業生の、日頃の社会での悩み、解決すべき問題を語り合い、「大学で学びたかったことはこんなことだ」という助言や提案をしてもらったり、社会での経験を在学生に伝えたりしていただきたいのです。キャリア設計という授業やその他の機会に、卒業生にお願いして在学生に卒業生ご自身の経験談などをお話ししていただいております。声がかかりましたら、是非お引き受け頂き本学に帰って、在学生に語りかけていただきたいと存じます。

私もこの大学に創立時からお世話になり、今年で 22 年目を迎えています。あと数年、在学生や卒業生の皆さんと楽しく厳しい学びを続けようと思っております。

近況報告リレー

11期生　谷川　智恵さん

公立大学を卒業して早いもので10年を迎えようとしています。私は卒業後、熊本県赤十字血液センターに嘱託職員として献血業務に携わり、昨年退職し現在は老人保健施設にて介護士として勤務しています。30歳を迎えての新しいスタートを切り、利用者様をはじめ周りの方々に支えながら毎日奮闘している日々です。

在学時は社会学ゼミに所属し、倉先生にご指導いただきました。ゼミの時間は笑いあり、新しい考え方や見方に刺激を受け、とても充実した時間でした。4年生になり、皆で各々の卒論テーマについて考え、完成に向けて意見交換し、時には嘆き、励ましあったあの時間はとても貴重な経験です。あの頃のゼミの光景、先生や仲間の顔、学校の雰囲気は今になっても昨日のことのように思い出されます。全員が無事卒論を提出出来たときの達成感は忘れません。

今振り返ってみると在学時のすべての経験が卒業後の自分に活かされているなと思いました。そしてこれからもリレーのように繋がっていくことに期待しながら頑張りたいです。

DouSou NOW 同窓生近況

1期生　大谷　美樹さん

私は、1997年に1期生として本学を卒業し、熊本県教員として7年間勤務しました。その後、結婚を機に宮崎に戻って参りました。宮崎県教員として再スタートし、今年で早12年となります。3人の子どもたちにも恵まれ、忙しいながらも幸せな日々を送っています。

入学当時は1学年200名でのスタートでしたので、真新しいキャンパスで自由に伸び伸びと日々を過ごしました。ゼミのみんなで何度も集まってプレゼミを行ったこと、先生方の研究室で22時ぎりぎりまで人生の相談に乗っていただいたこと、歴史のない大学祭を仲間と共に創りあげたこと、語り始めたらキリがありませんが、良き想い出でいっぱいです。

また、ゼミで戸高裕一先生の元で学ばせていただいたこと、生涯の伴侶やかけがえのない友人たちに出会えたこと、大学時代に経験した全てのことが現在の私の礎となっています。感謝の気持ちは言葉では言い表せないほどです。

公立大に関わりのある全ての皆さんに幸がありますように。

お詫び

前回の近況報告リレーで氏名の表記の誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。深くお詫び申し上げます。

（誤）長嶺　寿宜 →（正）長嶺　寿宣

新会員紹介

19期生　川西　あこさん

この春より、東京でお針子のたまごになりました。昼間はアパレル企業でアルバイトをしながら夜間学部で楽しくミシンを踏んでいます。

大学の時と違い、今は自分で生活費を稼ぎながら学校に行っているので、遊んでばかりいられませんが、自分がやりたくて選んだ道、目いっぱい楽しんでいます。自由にやっているので全部自己責任ですが、それでも学費を負担してもらったりと両親の支えありきです。夜間学部は働きながら通っている人が大半で、自分ですべてやり繰りしている人もいます。そういう人を見ると本当に凄いし尊敬します。いい刺激です。

23年の人生、まっすぐこなかったのでこれからもたくさん寄り道をすると思います。寄り道はするけれど、東京で就職して30歳になったら宮崎に帰って細々とビジネスをすると今後の予定は決めてあります。どこから自信が湧くか自分でも分らないけれどきっとこの通りになっています（笑）。先輩方温かく見守ってやってください。

19期生　花房　里佳さん

宮崎公立大学を卒業して、早いもので2か月が経とうとしています。私は現在、三股町役場の職員として社会人の第一歩を踏み出し、頑張っています。

役場では町民保健課の国保年金係に所属しており、慣れない環境の中で毎日忙しく、一日があっという間に過ぎ、気づけばもう2か月目が過ぎようとしています。

役場では企業と異なり、入庁式終了後すぐに、配属された課で仕事をしました。入庁2日目から窓口に立った時の恐怖と不安は忘れられません。慣れないことばかりで毎日覚えること、知らないこと、できないことばかりでしたが、周りにいらっしゃる同期や先輩たちのおかげで、最初の不安がうそのように楽しく働いています。

まだ、社会人としてひよこにもなりきれていませんが、たくさんのことを覚え、役場職員として町民の方を支えていける人材になりたいと思います。

大学を去られた先生方

平成26年度3月31日	中別府　温和　教授（4代目学長）
〃	金子　正光　教授（平成26年10月逝去）

平成26年度3月31日	加藤　厚　教授
〃	渡邊　英理　准教授

宮崎公立大学同窓会「凌雲なな会」会報 NaNaKai 16 2015 AUG.

宮崎公立大学同窓会
凌雲なな会

新ロゴマーク決定！

この度、「凌雲なな会（以下なな会と表記）」では新しいロゴマーク・キャッチコピーを設定しました。その制作意図についてロゴのディレクションを担当した総務・熊本（11期生）にインタビューしました。

── なぜロゴマークが必要だと思ったのか？

役員会の中で、「同窓会としてこう活動すべき」という論点になる事があるのですが、そのイメージが役員間で定まらず、議論のすれ違いが多々ありました。それを受けて、「なな会」を象徴するロゴとコピーを設定して会員間の共通認識を作る事が今後の同窓会の発展に大きく関わってくると考え企画するに至りました。

── ロゴマークへのこだわりは？

ロゴでは「凌雲なな会」を宮崎の象徴であるスカッとした青空に浮かぶ「雲」と数字の「7」でストレートに表現。また、「雲」＝「クラウド（サービス）のように有用的な同窓生のネットワーク」を意味しています。ネットワークは会員であれば誰でも利用可能で、「どこでも、つながる・ひろがる」ものでありたいと考えキャッチコピーを設定しました。

── ロゴマークを設定することで何か変わりましたか？

これを設定した事で、現在は宮崎中心の同窓会活動を各地方へ広げる必要があるのではという意見が出てきました。宮崎公立大学という共通項でつながる各地方でのネットワーク作りという発想は「なな会」の方向性を定めた事で生まれた意見であり、今後もこのような建設的な企画が期待出来るのではと思います。

── 会員へ一言

新しい「なな会」の活動にご期待ください。会員の皆様からの貴重なご意見もお待ちしております。

平成26年度 宮崎公立大学同窓会凌雲なな会　一般会計決算(案)

1．歳　入　（単位：円）

項　目	予算額	収入済額	増減額	摘　　要
前年度繰越金	900,000	1,416,639	516,639	
会　　費	100,000	250,000	150,000	同窓会費郵便振替分　20名分
入　会　金	3,600,000	4,120,000	520,000	@20,000×206名（新入生）
雑　　入	0	716	716	利息
合　　計	4,600,000	5,787,355	1,187,355	

2．歳　出　（単位：円）

項　目	予算額	支出済額	不用額	摘　　要
人　件　費	750,000	601,885	148,115	事務局事務員手当
需　用　費	150,000	163,452	−13,452	通信費・消耗品・手数料等
委　託　費	1,350,000	1,402,164	−52,164	データ管理、名簿・会報発行、ホームページ管理委託契約（小野高速印刷株）
設　備　費	100,000	0	100,000	備品購入等
親睦会補助費	1,075,000	733,175	341,825	総会後の親睦会開催費（支部活動費を含む）
学生活動補助費	330,000	317,000	13,000	大学祭補助費、卒業アルバム購入費
役　員　手　当	300,000	204,000	96,000	役員手当等
諸　活　動　費	120,000	0	120,000	同窓会主催各種活動・オリジナルグッズ作成費等
繰　出　金	0	0	0	特別会計へ(同窓会準備金)
予　備　費	425,000	200,000	225,000	会費返還　15名分
合　　計	4,600,000	3,621,676	978,324	

歳入総額　5,787,355(円)－歳出総額　3,621,676（円）＝　差引き　2,165,679（円）　→　次年度繰越金

平成27年度　宮崎公立大学同窓会 凌雲なな会　一般会計予算（案）

1．歳　入　（単位：円）

項　目	予算額	摘　　要
前年度繰越金	950,000	
会　　費	100,000	￥20,000×5名
入　会　金	3,600,000	￥20,000×180名 (入会率9割)
雑　　入	461	利子として
合　　計	4,650,461	

2．歳　出　（単位：円）

項　目	予算額	摘　　要
人　件　費	750,000	事務局事務員手当　￥62,500／月×12
需　用　費	150,000	通信費・消耗品・手数料等
委　託　費	1,402,461	小野高速印刷に委託（会報・名簿・HP等）
設　備　費	100,000	備品購入等（パソコン等）
親睦会補助費	1,075,000	総会後の親睦会開催費(1人×￥5,000)
学生活動補助費	330,000	大学祭補助費・卒業アルバム事務局購入費
役　員　手　当	300,000	役員会手当
諸　活　動　費	120,000	諸活動費（交流事業）
繰　出　金	0	
予　備　費	423,000	同窓会費返還等
合　　計	4,650,461	

平成26年度　宮崎公立大学同窓会凌雲なな会　特別会計決算（案）

同窓会準備金　特別会計決算

1．歳　入　（単位：円）

項　目	予算額	収入済額	増減額	備　　考
前年度繰越金	23,682,436	23,682,436	0	
繰　入　金	0	0	0	
雑　　入	0	0	0	
合　　計	23,682,436	23,682,436	0	

2．歳　出　（単位：円）

項　目	予算額	支出済額	不用額	備　　考
同窓会準備費	23,682,436	0	23,682,436	
合　　計	23,682,436	0	23,682,436	

歳入総額　23,682,436（円）－歳出総額　　0（円）＝差引き　23,682,436（円）→ H28年度同窓会準備金

平成27年度　宮崎公立大学同窓会 凌雲なな会　特別会計予算（案）

同窓会準備金　特別会計予算

1．歳　入　（単位：円）

項　目	予算額	備　　考
前年度繰越金	23,682,436	
繰　入　金	0	
雑　　入	0	
合　　計	23,682,436	

2．歳　出　（単位：円）

項　目	予算額	摘　　要
繰　出　金	13,600,000	凌雲なな会奨学金基金へ
同窓会準備費	10,082,436	平成28年度への繰越金
合　　計	23,682,436	

※平成26年度総会にて承認済み

1～6期生へ、会費納入のお願い

母校は、今春23回生を迎えました。同窓会は今後、会報の発行、ホームカミングデイの開催、オリジナルグッズ作成などの事業を行っていく予定です。同窓会費は、同窓会とこれらの事業の唯一の財源です。卒業生の皆様には同窓会費2万円を頂いていますが、1～6期生においては卒業時に2千円を払っていただいた以降、完納されている方が、いまだ少ないのが現状です。少しでも納入率を上げるため、今回、振込用紙を同封いたしましたので、お手数とは存じますが、会費納入をお願い致します。

残金については、振込用紙に記しておりますのでご確認下さい。なお、完納されている方にはこの旨の用紙は同封しておりません。

納入して頂いた皆様、ありがとうございました。

役員より一言

皆さんこんにちは。この度、公立大学同窓会の新役員を務めさせていただく事になりました、19期生の山本麻育子と申します。現在は、総合環境衛生管理の会社に勤めております。縁あって、生まれ故郷である鹿児島ではなく、ここ宮崎で、慣れない仕事に四苦八苦ながらも楽しく過ごしております。「公立大は、絶対君に合っている場所だよ。」という高校の担任の言葉を信じて本当に良かったと思える、4年間を過ごしました。そんな大切なつながりを、卒業してからも持ち続けることが出来る機会を得ました。私自身の力はほんの僅かですが、学生時代に関わらせていただいた方々や、多くの先輩方、そして後輩たちの為になれるように、（勿論私自身も楽しんで！）この同窓会でも頑張っていきたいと思っておりますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。19期生の皆様、ホームカミングデイ等、わたくし精一杯お呼びかけしますので、無視しないでくださいねっ！一緒に楽しみましょう！

19期生　山本麻育子さん

発行／宮崎公立大学同窓会「凌雲なな会」
印刷／小野高速印刷株式会社

〒八〇〇―八五二〇　宮崎市船塚一丁目五八（凌雲会館内）　TEL〇九八五(二〇)四八四四　FAX〇九八五(二〇)四八四五
E-mail：dousoukai@miyazaki-mu.ac.jp　URL：http://www.nanakai.jp/